

栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会Progress

高校生ボランティア・アワード2024

「地元を活かして、地域活性化」

活動概要

私たちは、地域課題に対して「1歩踏み出す」ことをモットーとし、活動してきた。昨年度から活動を始め、今年度で2年目を迎えることができた。

昨年度の主な活動

1 地域課題解決 牛乳編

(右の活動①に関する説明)

栃木県の特産品である牛乳の大量廃棄に問題意識をもち、牛乳の消費量を増やすための料理の考案を通して、地域活性化案を提案した。

その料理の考案にあたっては、国内外の観光客を対象と想定したため、地域の学校で勤務する多くのALTの先生や地元の飲食店にも協力していただき、牛乳を活用した料理を提案することができた。

2 世界課題解決 コーヒー編

(右の活動②に関する説明)

コーヒーのフェアトレード商品の販売をきっかけに、コーヒーの消費に注目した。その際に、風に立つライオン基金と猿田彦珈琲がコラボレーションし、商品化されないコーヒー豆を活用した取り組みを行っていることを知った。このことを受け、私たちの地域でも同じような取り組みを行うことで地域貢献できるのではないかと考え、活動を開始した。

活動①地域課題解決 牛乳編

1回目試食会
高校生×地域



2回目試食会
高校生×地域×海外



活動②世界課題解決 コーヒー編

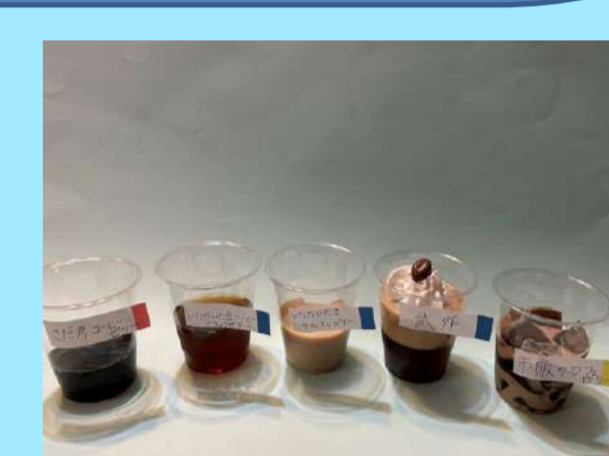
きっかけ:商品販売
NPOと協力



気づき:商品購入
企業の社会貢献に協力



挑戦:試作品の完成
地域企業、地域団体と協力



更なる挑戦へ…新たな課題と向き合う
食品には加工できないコーヒー豆は意外と多い。これをなんとかできないか。

「1歩、また1歩前へ」

私たちだけでは、出来ないことが多い。でも、思いを共有してくれる人、応援してくれる人は身近に存在する。

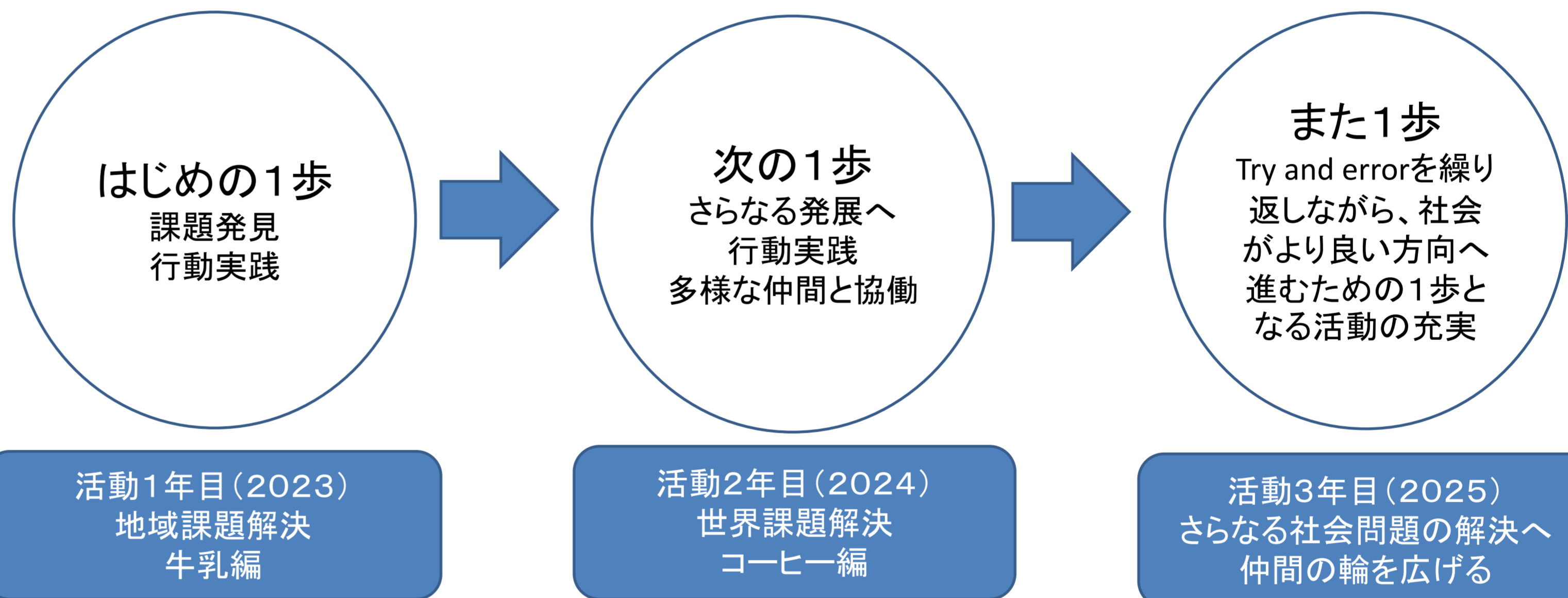
私たちの1歩は小さいかもしれないけれど、同じ方向を向いて多くの人が1歩踏み出せば大きな力に変わる。

私たちの活動は、世界を変えるような大それたものではないが、より身近な地域が少しでもよくなるように、遠く離れた地域にも少しでも支援ができるように、そう願って全力で取り組んでいく。



活動のモットーである「一歩前へ」に合わせ、歩き出す足をメインに描いた。

背景は矢印の先の三角で進むイメージを表している。そして、私たちの活動のきっかけとなった牛乳の色と、矢板東高校の制服の特徴的な色である青を組み合わせた。



主な活動の詳細

- ・地域課題解決 (牛乳編)
麗澤大学国際学部主催高校生プレゼンテーションコンテスト参加…優秀賞および国際学部生賞を受賞する。試作品の完成…商品化は道半ばである。
- ・世界課題解決 (コーヒー編)
NPO法人ピースウィンズ・ジャパンの協力のもと、フェアトレード商品 (コーヒー) の販売を行う。NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの協力のもと、フェアトレード商品 (チョコレート) の販売を行う。風に立つライオン基金チャリティ企画商品「さだ彦珈琲のカフェオレのもと」「さだ彦珈琲のコーヒーゼリー」の購入をきっかけに地域のコーヒーの消費について関心を抱く。試作品が完成する。現在中心的内容として取り組み中である。
- ・その他
令和6年能登半島地震募金活動を本校で実施する。日本赤十字社を通じて募金を届ける。有志生徒とともに、体育大会にてレモネードスタンド活動を行う。

「豊かさの裏側で起きていることを、問題視していきたい」

農林水産省によれば、日本における1年間の食品ロスは、約612万トン (2017年度推計値) といわれている。日本での食品ロスの原因は主に2つである。

①事業系食品ロス (328万トン)

- ・小売店での売れ残りや返品
- ・飲食店での食べ残し
- ・規格外品といった事業系食品ロス

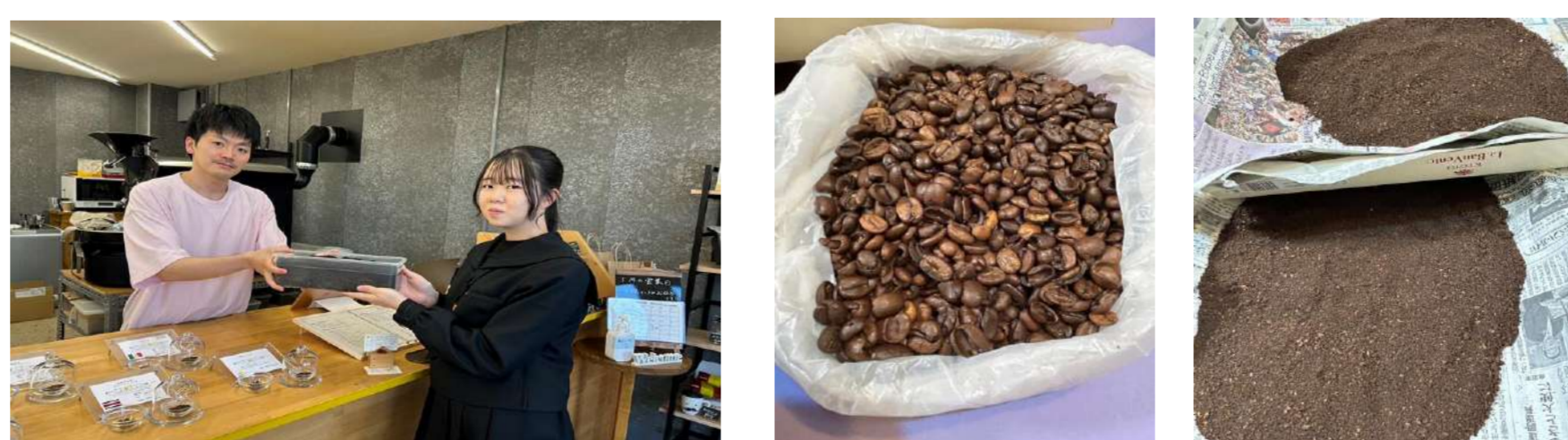
②家庭系食品ロス (284万トン)

- ・家での作り過ぎによる食べ残し
- ・購入したのに使用せずに捨ててしまう
- ・料理における皮のむきすぎ

どの項目も、私たちの身近で起きている日常の出来事の1つに過ぎないかもしれない。しかし、世界では9人に1人が栄養不足で苦しんでいる現状があるため、私たちは豊かであるがゆえにこの食品ロス問題を軽視しているといわざるを得ない。

食品ロスは大量廃棄問題としてだけではなく、環境にも大きな負荷をかける。だからこそ、全力で取り組むべき課題だ。近年ではSDGsの普及によって食品ロス削減への取り組みが、企業や自治体などでも活発になってきた。これらの動きに高校生である私たちが協力することは、決して難しいことではない。

これからも地域の人たちとアイデアを出し合いながら、私たちなりに1歩1歩目の前の課題を解決していく。



今回の企画に協力してくれたコーヒー店の店主さん



頂いたガラを使用した消臭剤。入れ物は幼児期の靴下やバックを再利用した。



蠟燭雑貨として。販売している豆を使用した試作品



活動団体プロフィール

2023年に発足したリベラルアーツ同好会Progress。

チーム名の「Progress」は、物事が前に進むことを表す。また状況や能力の向上といった抽象的な進展も含まれていることから、私たちの取り組みによって少しでも社会問題が解決に向かうことを願いチーム名とした。

様々な人々との地域での活動を通して、私たち自身の創造性と協働性も培われてきた。

現在はメンバーは9名であり、少人数で活動している。

- 3年生メンバー
佐藤怜佳、折井夢月、波多腰桃、葛西夢彩、森花菜子
- 2年生メンバー
西脇逢奏、八木澤珠希、田邊知佳、高久ひまり

今年度の目標として、新しいメンバーを迎えて、2年間の活動で試作にたどりついたものを商品化していくことに挑戦していきたい。